

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

~ 4
5025



門號卷
4
5025



月花百首

花

竹内直道詠

さくねうりふのやまき　まもや　たまうねよなすれとおもへ
わましもまきほく省ふ花のえみこひまくすらにまきのじ
様風まのうけき／＼さかわ娘のむすへ今やいとね／＼す
かゆくね日敷もかりとゑのこにてちまくぬ枝ふぬつ様う
様もやくちくまくまかくやとりあひ日敷みをくらんじ
もやくまとおもひよあくひくねまきとわやうひく年
はきせめそ枝もひうきてわはうくちの日敷をさへます
みお人ハナ木まきとまつ枝子ほきせぬ花の冬あわせかな

森文作
正贈
和十三年四月三十日

春まくともまだひよしやてうれゆのひとひま冬こすりうね
山梅年ふる枝あら花そとてもつにやまくはまくぬうとあり
今とあれかうまうすもいふえさとくも花やいもけくうす
けくありゆいふよまくお梅もまくぬうきなうちまくあらう
あまくととくとも花のまくとあかきてゆく免ひ乃まかう
おまくとも内あくまくうの日とほむ花の面影もかま
けくお花をなづら風よすかすわくあくまうおや枝のまく
まくのくまくひやせたる春ふあくぬ夕影ハモモアヒ
今まく春とくみむじのやけまれましきうにふやまくわと
門人のくまくはつまくはまくと葉や枝ふくもわふ

さくめどといひまくみハ一枝ふえくとくまくの下見
もくおもくちあやちうくぬ梅もあくまくはなとくくくも
春ふくたうくまくぬとあまきあくまくまくぬ枝初花
まくをおいもじ枝ふくもくとくもくもくまくまくまく
くしやくおもくゆつ枝ふくまくまくくのゆくにまくは
山きくわねのまくのまくあくとまくぬつまくまくは
まくとあく花のつてもくちとくとて日數あくまくまくまくは
おじとおじひらくわくこれくやくまくまくまくまくまく
まくも今ハ雪ふくちあくまくぬ枝のをまくくわくわく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

あわきもうきたひくまのほりれそむだたの一枚
ちうててはきまくらる人のふともそむうてくにゆきの初花
うまくあわせらきまくふきり山ほさとけくうじ花の指
さばくもてくやうみがきくねぐすく一枚のまくらまきり
ものまくあまうとくねやれよもまくらまくらまくらま
心あての花のけりかをじてしむれえすも春のひく
かまくまくらむひくのまやあうむくにきく花のひくは
うながまくらぬのむかへくもくとてやうとく香乃とく
わきえくよすかよのうのう山病せのうむもしよまくらま
里方とせきてえくくぬ種めのう一あほのみのう

けふまゆむ花のうほまやよーのふりうき袖にまほまきせ
よーせぬみややの様にくまんねにしきはせ花やまくらむ
くの山あきくやふくにくるぬもとをやうれくらす
よし乃ふくつきくふとまきをなうわきと見るすかねまくらつ
おまかからうーせねくもやほくらぬんの花のまくらゆ
山きくふくの梢の爻をうてにのみのむくまきりくまくら
くもとーむくらむくの梢の爻をうてにのみのむくまきりくまくら
まくらゆくわゆくとくよりそまくに梢ハ花まくらゆく
くわきてかひあるやうきくまくらむお雪乃春のゆのと
花まくらとくとくとくハ妹もまくらむくまくらゆく

うかく待かる里人とゆきさむむすぶふれある花の山
山かくともあらなおあせりきねぐらどはゆるちぬるの本年
白毛にあかみへいとしきくらむかくまかくもとちのふを
かく山よかくも様じふ風のかくもがりはひもこちして
ゆく風もやほひぬるや様見るよりまきまの山地も
先あき谷すむらくあれとよされ様ふねまきとげき
人共處の所の河すむらとすまくをうちれをの
あくふうらものふとハあくれてほくさよのみのばくを
向まにまかづくはくみあは花かくみじよそれなゝめと
さかてまありしつくちとわすくはくみばうむけを

まかみとてすあき夕成や下橋日かねル川ノ人のうきを
あきやくとすとあいととまことにたどる人の元乃井を
れきまくらきの立れもかあまくらきひくはあくね山様うな
唐くれら又工は山をくらうめのまやくちくまくも
一木きる工を精とぞうふ工すとおと花や物もす
んてくうとてゆるき林きく花りて一枝を袖うかぎてし
一枝もほくねまかひととくくぬる心は空やほくのまくも
をくほくすもかやまくせむかにちばんの匂は様あらゆる
山すもあくねのまく一木はさくらうわくともうのう枝
あき日にはくねくねくねあじわをくわうのまく

正月の朝はあはれとて河の枝木をうき
と見ててそゆるあらわと橋元としもんと内へあやあま
水がみえともよしやう橋あらもたの新とせきてと
なるけいの川をの山川ようまハ月数のちやとなりま
あちよきとこまるとくねぬかつり叶のう一は橋うけを
叶もあらひみむの花もばちまきされのゆまハりまくよ
すとひづくらきとめうせふちすへ垂のむもさききと
其の跡りあらへぬりゆゑはねやまくお千世のゆくま
室もねねやうかれすあかねや花のゆまく春れあはは
かくまご人のゆまく風ふるや花くらぶの室

うそなを風ふとあぬや室すれむる人をゆくとす
あらねりとまよひのくら花のえにかくれとおぬ室をまほ
物衣たちひくとひまの日とあらぬ心とみちのるみだは
根うきのゆくとみるもハ初をゆくにまわのく文
ゆくなりとおもとおもとおもとおもとおもとおもと
もひあくと元のみまつてくらみくちびくほくほくか
くらとくのゆかうとくとくとくとくとくとくとくとく
かくらとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
かくらとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
たちうきてまもゆよもかくゆ里あゆまくゆの橋も
あゆまくゆのゆくねとほててゆくちとあくゆくゆくゆの橋も

かくさのくもみ跡ふりそれを旅路すまへのとかくも見え
風うきてよきういとまも花ゆゑばちまくは者せゆきてよくも
あくよおれひなほてとあきもとへ人おれもおれの花のひもと
ゆるよおれとみくわらこねハシムとがときをさかりるや
あくくられの病れくときかもううてみ山のいやとよむか
露うらまにあそびタキアリ樹といへみ山をみと
花さけハラう省もむかそくぬ日敷とかの春ねやア里
ゆくねくまきはのねる山をくわくわくわくわくわくわく
さくふよおうすまはらうもじて枝のまかまえねもじて
見えうなふゆくみの春あゆしま花とくちうくくらむ

河へ山のまぐらのかげにきやも裏の下れうふ
かくまくよおのうきぶるけり表もよてせもふもね山のは
やアおもたねのよかくはくよくやくまく花のうくも
そくもくはくえてくねくも庭うまの衣うふからくわく
今後うけりくへ度さくあふはくまの枝もねくも年
きもうこもく花の壁もゆうじよめうきゆくらぬを極う那
あくはよまやむのまくらんゆくやくのうくわく
さくもくわくらやくうよくお山やうらまちわくやちや
佐保坂の花のくさみぬまかくやくもまた年くも
まくはくまく花のくさみぬまかくやくもまた年くも

ありとあま梢のあらゆる叶をもとめ花の春ぬ
あまくとゆくよまゐるすをあまふふ乃タわ
あまやせぢりわあまあるのあまきの様やあまうすも
あま麻もあまのふのアーハと月あまくふもやスミも
あまにあまあまと春のえきて月ハあまうのひま
あまくふをあませわまく花の色叶あまく月にえまく
タまえの梢カマヤ日影よアマクサマクや花乃ト深
山色のつらかくはあまくわるよみだよぬく月かき
あくまく月をつらなむあまくはうちの花のあま
まふは又月かく解ひあま正きりあまくはうちの花のあま

河の邊の花の葉の元の葉の茎をもててちくねきわとすふる
ものえよちよとくゆうゆうのうき様のやかとさよやつふふ
わよすや花のあやめ野戸出せんとりふ枝のよす
うそてねや風をいはして草の人くよすと花よあくも
うそもさもさとむてこ風をいはしてせくや花の梢に
花さかりあつひおまも答ふうまさくはおもまふ等
山桜あとももさくがまう那あまやせもん神りこてきて
のゆかるととせとハたか神もゆくにあひこちして
うじゆよとよなまとめのくのえもへくまがほすれ
きみハまきをもあねとおけあてうきくはおまかすれぬかな

うるあるふあつてもあくひなまきあまとのとハスる桜うな
うのうれりすまのわすれんひをあむじ花とまくわ
せの人の心の色もゆくねていく春おきいもふすもくす
まちーとくをすくねりくそやう、梢のいづくとくすく
ゆふくすくのゆもうち枝のくわかりぬへきくらく桜うな
うの花の花のゆきく今にてあひるむことのとがまくわふ
ちきよがくしむあうの色もあすに見るハ市の花のゆくま
さくわくわく梢のゆくとあたふるくちくくくすゆく桜と
のゆくわくわくにうきくきくらまくとくちく花のゆく
さくわくちく花すくらあやまほ花のゆくつくもありし

さくひあき花のやいはとさほ歌のたまてまるのをもうるも
ちゆのみいとく様のそゆふねり日暮りひよしも
ちせのまかむ様のまかかふあくすゑどもとあへすく
ゆなりといふてててあら様もありのとくにき名とおもへば
山はあらうてつまちく風とおれても花の本が
ちてえあまくまめもこうよぎくわらあれ様ばかりハ
アリテうきなみかにあじまえまゆまくちる様うる
ちゆくとくじんみくらむいうそぐくのうまふ
かくをりとくもみだのうそくまわだくはあら様ゑな
まく根下りとまきハ山あちやあく一地元ふたる

あやの音とを「まてちほこすむ様のもん」
ちのふぬ海のハモアもをさへきし花のまゆ
大方はちもよててちきよしゆくあわ花のかのまち
やまくふの春のふもむなまくによをゆめゆめ
りゆきかうきよはまくによゆめゆめ乃ち那の別所
りゆくちゆくとも春のふとてをめうす様うる
あるもととくあれゆもちくゆくかうめうとがやるる
花のまくにゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
あまくせとまのほきよをもとては柳のゆとちよく
世の中の人のみくみくみくかうきよのむらちよく

春の物をわやまとあひやこのそくちうといさめらむ
まうひあきてもふとまきを櫻花つちあくやとそーとる(き
ちうそきそそも日はへも桜花うきあひなうなうれどりとむ
けくら花ちるらとくかうるもじとくねくめの其のやまを
かまくわくあく櫻りぬまくらるめはつにたるれやまつむ
みあくほんのとよまにあすひととまをとどやまつむ
まくはれ風の海まみの桜花をもんはあまやあまくま
まくもれておひるじ桜花あくはくめぬれのほくまく
おひりゆくとくひあくも桜花うもんをさるれまくまく
おひりとくし桜花ふくれハ若あますもつまながきあり

ちもわんはくえくやひづき春れ山かを
いはせも花のゆくとくもそもよも桜花まの山風
さきかまく花はくまよアラシとくにハサウテ山のやまれ
さるはのとくじのゆくとくはくは花のようきまもかま
トくはくわくわくも花まよかのとくふはくとあくと
あくとく風はくとくとく花のゆくとくとくとくと
さきかまく風はくとくとく花のゆくとくとくとくと
みあくはくはくはくのとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
あきあきてゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

いとさうへあくね梢の下へまづよその花の夕と見
あじらひものまきわよおる人をもあすへちきやまくあむ
いつくかくほくかきのあくねとまづまき花の夕と
まふもえあみるもとむかでゆじしかくまみにほんとく
なまくとくあくねうひとよのふきもつまき花の夕
ちる花の夕と心ふはれてよしわまもあ乃ね山
のふきの夕と心とむきにてもれはつまくまの白ゆ
かくほくに枝のあくね山ほくとむ花むなきとは
おもむすくちるのまくはすかの花うえむまく乃ね山
川のをくわぬ花もあじるもあくねと見てよしわり

あくねとくわぬ花の夕と心の白ゆ
ちる花の夕と心の白ゆ
山ほくとむ花の夕と心の白ゆ
かくほくに枝のあくね山ほくとむ花むなきとは
おもむすくちるのまくはすかの花うえむまく乃ね山
川のをくわぬ花もあじるもあくねと見てよしわり

くきゆきと月のうすめに詠るきにま
ちとゆくとまやいと様むたまて
さくえあらはととぞじとくと
あきまみれりとくとおわみてるよ
あれりとおもせなかまむよ月あ
くきみはをくらはせし月新ふるく
そくを月アカシカてあくよがく
ゆくやの花の月のあしふちく月
めじへくすや月ルキアモ花の山

様ちよハ月もよみかえてとくも
をしみえなだのよみのよみ月く
うほの月あらとくよくものよみ
一月アラキ月も月も有ゆりありく
くら花の月くねる月に月のまか
草見風のよくねる月もあつま枝
をきぬとぬ今は草のよくねる
やくねるゆくあじして草もりやくね
ちりよき一月のよくねる月もあつま
草みにすくねる月の度くねる月の度

ヨリ古アリトモ秋深山、うせ乃ツテホヌルモノノミムシキ
キモテテヨリモヤセレ、梢の先をそやちもシマキアマツ山、うを
高麗根もつれ、さくさくし山、やのつての、いきめ花の白毛
ボリホリ、ぬるぬる、としかむきともかくて、花のちりはハ
桜も雪かく見え、もちらねの、あらまの、の、えをもくる、も
山かく、もそそぐ、もそそぐ、もそそぐ、もそそぐ、もそそぐ、
桜花も雪かくとおり、と庭のさかは雪を見えます。
ままでそくちる、ある、桜花の雪つみうち、すこやか
山さく、ある、日暮の、あらうつか、もぐへも、乃るゆき
根かく、ひやねども、桜花も雪かくも、うきねまわ

おとづる思ふにやぢみをもと、ハモカヒカハモカヒ
ちゆふでせらへと、さかがま身取まく、とむる、白鳥
或えもえ、れもね、ね、青葉と、よもじもの、すく下く、
かのまとおと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、おと、
ちとえて、あ、ま、な、お、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
む、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
ち、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
と、あ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、れ、
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、
と、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、

さあはゞむ心のうらかことなまてのふるきの面
面おほひのまつたものぬかはくを利ひのとよせんけ
かひもねまおきひのととまくとて青草すらふ花の匂氣
くきを一様ぢりての枝れむ柳も柳も青紫ぶれまわすあり
ちきほえふのれみとたまうてあきわらゆまめあらゆ
ひやがふつもあさまの日数までのしきのやもきえに

四

夕月夜のひまほりてある都とみく初月
なすもきもかゆる氣のせせぬもうきすまはる。秋のよし月
あやめはりあへりきひとしよみだらむ。河や日のせじうりを
お乃月ちゆはえやる人のあゆふのそとうまく
あゆふるはくわまとがくくむ月水袖はくねのよし
あく、きてそしも首のととのひ月やくわとほくわく
よしよやくうわぬわあふきみてほくわくぬくわく月新
うれやくわくわくのぬき。せぬかくわくわく月新
河を走るかくわくわくのとくわくわく月の水のよし

やまかとあさもひもじねのよきづくら月のすみをさり
て月お光の見もねまつておのなちくらむして
秋の月ちくすえ乃もおのまづておのまづて
おもだりうらせすもすみぢよもおの月がわを
まほえによお月とじくねかうよあくよ
おゆゑにあぬはとくもてとうちかふる袖乃月新
手く又めねてもまむよの月薄かうれやはるく
あるのぞれかまくと薄かうるくも月のうき先に
老なるうちもおほて元月と今ハあきゆく成るそもつ
きくわてやまもはての月新のあらはう袖みしげ

みやまくらうれもあらうにまほらくとぬ袖乃月かき
心あつてはくと月あはりする袖の中うりつ那む
えらかかうき所もよほの月のく人教よしりやまくも
月をゆふわゆふよまくおけりゆくとあまくとゆく袖
あまのゆくのゆくの月新とあまゆくとゆくゆくの袖
あまゆくの袖とゆくの月新とあまゆくとゆくの袖
あまゆくの袖とゆくの月新とあまゆくとゆくの袖
あまゆくの袖とゆくの月新とあまゆくとゆくの袖

中おおむねにちしやもむくのうまくあらひの月新
さしもねやうう一かまくまく 村にはるかの月新
月うきとちくはつが、そもくぬいめにぬりゆふ能
さくくもくよみを新とじきて能くもや月のうきは
新まくみゆうと能く夜はるか月かまくもゆうを
ちゆうとるれとぞく月新よ能くとねうを能く
今次うする能く夕月夜ゆるてはくがくも
つきやアーベルもくとくのよーの月の夜ゆうつ
すみ見る月の先のゆきと能く夜ゆる能く
里うるまく能く夜ゆる能く夜ゆる能く月

身のうきのくへもくへてあるあることくや秋のうき月
ねとあきてえもくあることくへもくのうきの月
まくまくのまくまくへくまく能くもくへくまく月
秋くねくねくねくねと月うきとくねくねくねくね
くねくねくねくねくねくねくねくねくねくね
くねくねくねくねくねくねくねくねくねくねくね
くねくねくねくねくねくねくねくねくねくねくね
あく人のうきとくねくねくねくねくねくねくねくね
くねくねくねくねくねくねくねくねくねくねくね

このつ海のそよひすれかなやまもあけよかくやまの月新
よとくみのあともだす月新よとくみの浦の支那
浦の仲なかむしてまたに新あらかわうとがく月めゆ
もととくうりやくもふの面おおの月めゆとあくまも
うききも海や月とうちくはくはくとく川流のま
今度えな川ま月かみきて水のかしも先あまくも
あがかやうあがる門せあやあくつまめぬもめ川
うほくもまよあくねえとてのや月のや門乃水
河や東北の山月ハまのやとよ山門
やくのとおと月も川流月やまも先はくちくう

かうまくまとの草とく月のねうぢくちーと
あふうじゆくめくとくふき月のえや鶴の老ぬまくみ
まくみ鶴の向むらうひやそにく月のあつにまむ
くのあと先ねくにくとたさくハ衣や月お白妙
庵の比乃くとくとくとく那うじみ紫まくまく月新
そくまくまうとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あくみのあまもうきとくとく月の差床あくみのあく
まくみのあくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
うとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
やくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

を一だうな山田のつましれかずて西よりよる秋のよる月
をほそきひきはれおもねりやまら風のいとし小田の月新
秋のゆきちすきのをもとたすめくわむき月のまきを
いふやまとやまはひるぬみ又はの大せれをの月新
あきの跡あまきかづる月新とうだみあるとばく京
風はくとくのめきはまくらとこれとくの月ハクとく
りきゆはまくはまくひまきのまの高村月新
よもやまの先のとよととよむきてるをハホの月とみれ社
あらのまなはせきにゆきかて秋とくすの社の月かき
仲かきや月の角とも柳葉のくわらへるうけとくせれ

至る方のちまくやまきと仲垣ありりてさる月のかみと
ほせ垣やまのひきて室のやがあくる室先城もく月新
あらひとく月のよことうかくもほきもあきやあらのま里
あうちれんやくはまくもあくね枝あらあらの月
新をあらへよまくします月ゆゑせや月のあくへ
よき月ゆゑゆゑとまくや宿のゆゑへまくまくまく
もくめしや宿のゆゑまくまくまく月とまくの済ゆゑの宿
かくすてせまくまくの月のあらげまくまくの宿のれぢよまく
せのゆのゆゑまくまくまくまく月とまくまくまくまくの宿
秋の夜もあらへおまくし人まくすむにまくまく月行

かくわくとてこよひの月の見えやも様やくさうのねまひを良
りあきむらのちやもゝ通ふおゆゑをあはぬ月のかみを
あきの月をのぞみれまへる月のゆゑせらすよゑくと
外ゆくとあやまつともへやのうきめおゆけのあひ月
ゆきがりてはるてまつまつとまつまつとまつまつと
はるまの月よきまゆる達のまへ解あゆむとやくも
あたふてててててててててててててててててててててて
やまくわらひのをふきづけとおうーあくねふきづけ
あそれもまのめかきとかりやまほりあゆむちの月のとみを
月ゆきはゆきはゆきはゆきはゆきはゆきはゆきは

えぬすとあはす根とあくもかやいとねすかまおしの月記
月事にあす河をひひひとあくこよひの月の事
まよみたる一者地雨朝とひぬよみ月ふるふ秋ノ節
あはせら西朝わゆる七月うみとはうどそくやあくと
まきまくらをまくらの月うみにくわくわ秋は秋
山の月の月の月もつ木葉やさくわあひてかくるを人
魚れわくあくゆくとめうめつまくわくわくは月
りそねるもふの月もくまくわくわくわくわくの月
鶴すもれひのまなをやほみにあむ月もいとるに
うすあめりくまくわくわくよだがすくわくわくの月

あくまくに山の月もくわくわくわくわくわく
あくまくと一はきぬまくまく月とちうるの月とくまく
まちくまくわくとはう月ゆえの氣とくわくわくと
いはまくわくわくわくわくわくわくわくわく
山の月もくわくわくわくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
かくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
あてう月の月の月の月の月の月の月の月の月の月
の月の月の月の月の月の月の月の月の月の月の月

をほしもにやまく ものの都とあきらめへるなりめす月
ねむのまづる者ふくらむ月もさへかの都とあきらめ
むの月はよやまく あすばのうくもじ
なとくへるく せ月おとこゆきいるおも おま
かくまつり日のひともうとてへりやうりすのま
るひととくもゆあまて月おとこゆきやうくもじ
あるをよみまくらすとく せ月のよくもじ
あくまきくまほく おもひぬつまく席そらもじ
つよとくあくまく月あくまく つよとくあくまく月
あくまく月あくまく つよとくあくまく月

ある事にてたまごとあらわすのすまびとよももの衣月かうづも
月とくよめぬちぬるおれどれハヌアラキはゆきゆよはまうちひ
おまもたのまくちくまへおもむくも月のよみゆハマクシテモカク
さひくき月のえよよまく又時々ひそひそてきふあまくレ
地角より月めを引きとまくらくゆうかのねのとみぢ紫
る月のうくはももくわひとまくはまくとまくあまくの那

此書とせん直そちへはひよるま
うえおのねよどくあらわすかわぬ作
ぞほくにようせんせんじゆくよま
かおもねうかくしめくらわすかく
いはくやうかくわすかくわすかく
きくやくわすかくわすかくわすかく
えくわすかくわすかくわすかくわす

おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす

おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす
おのづかにあらわすやうにあらわす

おまくさんいとかくしのとわがなるよや
はるよきのよひをすがすくは年とあ
あくまくうねはしゆへりかくとよんと
くよきよもんとくよかくよは

文化十一年五月晦

本居宣長

竹内藏板

製本所

伊勢松阪日野町

文海堂

柏屋兵助

